



8月15日(月)

新成人146人の新たな誓い 〜平成28年度伯耆町成人式 開催〜

盆

恒例の伯耆町成人式が8月15日(月)、鬼の館で開催され、今年成人を迎える146人のうち105人が参加しました。

式では、森安保町長ら関係者が祝辞を述べ、当時の溝口中学校3年2組担任・小原朋浩さんは「失敗して、這い上がるときに新しい価値観が見つかる。今持っている夢を大事に」と、教え子たちにエールを送りました。



▲新成人を代表して誓いの言葉を述べる神庭珠利さん

また、新成人代表・神庭珠利^{かみねたまき}さんが「仕事に就く際は、大好きな伯耆町に戻って、ここにいる仲間とともに、町の明るい未来のために寄与したい」と誓いの言葉を述べました。

式の最後は、伯耆町で和牛農家を営む宮崎美知さんが「輝いている二十のみなさんへ今伝えたいこと〜自然の恵みに感謝して〜」と題した記念講演で、「みなさんはこれからいろんな道をつくる。夢に向かって頑張って」と温かいメッセージを送り、新成人たちの門出を祝福しました。

8月21日(日)

ジュニアアスリートの熱い戦い 〜オールジャパン ジュニアアトライアスロンin伯耆〜

小

学1年生から中学生が挑む鉄人レース「第22回オールジャパンジュニアアトライアスロンin伯耆」が8月21日(日)、伯耆町総合スポーツ公園で開催されました。会場には、県内はもとより、遠くは東京都や福岡県など、全国から290人が集まりました。また、彼らの挑戦を支えようと、ボランティアも200人参加しました。

レースは小学校低学年、中学年、高学年、リレーの4区分に中学生の部を加えた5部門で争われます。出場者は、スイム・バイク・ランの3種目に挑戦し、ゴールを目指しました。

「前回より順位を上げるぞ」「笑顔でゴールしたい」などの目標を胸にゴールした選手たちに、家族や観客から温かい拍手



▲ゴールを目指して熱走する選手たち

客から送られました。

なお、この大会は、スポーツ振興くじottoの助成を受けて実施しています。

8月26日(金)

岸小児童が橋にお絵かき 〜「伯耆大橋」工事現場見学会〜

鳥

取県が伯耆町吉定に建設中の「伯耆大橋」工事現場で8月26日(金)、岸本小学校の3年生児童48人を招いて、現場見学会が行われました。児童らは、完成前の橋に絵を描くなど、楽しい時間を過ごしました。

これは、地元の子どもたちに橋や土木事業に親しみをもってもらうと、県と施工業者の日本車輛製造(愛知県)が企画したものです。

児童らは、施工業者の職員から橋の概要や作り方を教わった翌日、工事現場へ出かけ、高所作業車やショベルカーの乗車体験をしました。また、伯耆町出身のタレント・イモトアヤコさんの書いた橋名板(橋の名前を書いた板)が披露されると、子どもたちは珍しそうに眺めたり、文字を指でなぞったりしていました。

その後、長さ171.3メートル、幅11.5メートルある橋の床板に、クレヨンで絵を描きました。滅多にない機会に子どもたちは大はしゃぎで、橋に寝転んで人型を描いたり、アニメキャラクターや自分の名前を描いたりして、橋をカラフルに彩りました。



▲人型をなぞって遊ぶ児童ら



▲UFOを描く児童